

「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果分析と対策について

行方市立麻生中学校

今年4月に3年生を対象に実施しました「令和6年度全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の結果の分析と対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

今後は、本調査結果の分析をもとにして、生徒の学力や生活習慣のさらなる向上を目指し指導を進めていきます。

【国語科】	<p>〈分析〉</p> <ul style="list-style-type: none">・既習の知識・技能と関連付けながら、生徒が思考し話し合う学習活動を積極的に取り入れてきたことで、「話すこと・聞くこと」では、分かりやすく伝わるように話したり、話の内容を捉えたりするための知識・技能が身に付きつつあります。・「書くこと」の表現の効果を考え描写したり、自分の考えが伝わる文章になるように工夫したりするなどの「考えの形成」に関する内容について課題が見られました。・文章と図を結び付けて内容を解釈したり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりする「精査・解釈」や、描写を基に内容を捉える「構造と内容の把握」に関する設問において課題が見られました。 <p>〈課題の改善に向けて〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「書くこと」の力を高めることができるよう、表現の技法を理解し、表現の仕方や効果の違いについて考え、工夫して書く活動を設定してきます。・「読むこと」について、説明的な文章を読む際には、図表や写真等の資料を含むものを取り上げ、関係を踏まえて解釈ができるように、学習の進め方についての改善を図っていきます。
【数学科】	<p>〈分析〉</p> <ul style="list-style-type: none">・少人数指導や学び直しの活動を取り入れてきたことで、問題場面を適切に捉えて正しく計算したり、グラフの交点や傾きの意味を事象に即して解釈したりする知識・技能が身に付きつつあります。・「数と式」においては、文字を使って奇数や偶数、連続する数など多様な数を表す知識・技能の定着に課題が見られました。・「図形」領域においては、正三角形の基本的な性質を具体的な場面で活用して二つの三角形が合同であることを証明する設問において課題が見られました。 <p>〈課題の改善に向けて〉</p> <ul style="list-style-type: none">・図形の証明場面での「思考力、判断力、表現力」を上げていくために、証明を読む活動や与えられた条件を整理し筋道を立てて考える活動を取り入れ、数学的に説明できるように指導していきます。・図形中の角の大きさに着目して、問題解決の過程を振り返る中で新たな性質を見いだすことが難しかった様子が見られるので、結果を振り返り新たな課題を見いだすという活動（問題発見）に焦点を当て、発展的に学習するような授業の展開も大切にしていきたいと思えます。
【全体】	<p>・教科のねらいや特性に応じて、自分の考えを伝えるために必要な情報を選択し、適切に用いたり、根拠を明らかにして示したりできるような資質・能力を育むことに課題が見られます。特に記述に関しては、無答率も高くなる傾向が見られるため、苦手意識をもつ生徒の実態を捉え、適切な手立てを講じていきます。</p>